

十 勝 毎 日 新 聞

苗木200本植樹  
CO<sub>2</sub>削減貢献

宮坂建設工業

宮坂建設工業(帯広市、宮坂寿文社長)は10日、市内の帯広の森で植樹活動を行った。同社は環境管理の国際規格ISO14001を2003年に取得しており、二酸化炭素削減に貢献するため、社員50人が約200本の苗木を植えた。

初めての取り組み。建設現場ではさまざまな環境負荷の軽減対策をしているが、植樹

は管理部門の社員にも行える貢献活動として行った。

同社の高道伸常務は「来年は下草を刈って植樹した木を



大きく育てたい」とあいさつ。参加者は2人1組になって、スコップで穴を掘り土壌改良材を入れる作業をした。

トドマツ、カエデなど8種類を1000平方メートルの市の敷地に植樹。財務部課長代理の中橋保典さん(35)は「1本1本が二酸化炭素の削減に貢献できれば」と話していた。

(関坂典生)

植樹する宮坂建設工業の社員